

平成29年度事業報告及び決算報告書

I. 総括

第72回国民体育大会では、スキー競技をはじめ本県お家芸競技が活躍したほか、高校強化拠点校を中心とした少年及び女子種別で大きく得点を伸ばす等、粘り強く強化事業を重ねてきた競技団体の活躍により、天皇杯・皇后杯ともに20位と平成23年山口国体以来の好成績を収めた。

第73回国民体育大会冬季大会スキー競技会では、天皇杯・皇后杯の連覇を目指したが、獲得得点・順位ともに下げた。本大会に向けて「チーム AKITA1000 点プラン」に掲げる強化対策を着実に推進し目標達成を目指す。

社会人チームの支援では、指定したバドミントン北都銀行チームが国内外で活躍し、バスケットボールの男子JR東日本秋田チーム、女子秋田銀行チームが国体でアベック優勝するなど期待どおりの活躍で結果を残した。

アスリートの就職支援については、平成29年度目標としていた5人のマッチングが成立し、延べ6人が県内企業に就職した。求人側の採用意欲は高いものの、アスリートの就職意識が低いことから、大学生を中心に制度の周知徹底と企業情報の提供に努める。

生涯スポーツの振興では、総合型クラブ会員が地域交流会に多数参加し交流を深めたほか、3年連続、全国唯一、全市町村参加のチャレンジデーで62万人余りの県民が運動・スポーツを行った。

その他、スポーツ指導者研修を実施し、指導者養成と資質向上を図った。

また、スポーツ少年団活動では、交流大会を開催し団活動の活性化を図ったほか、スポーツ少年団指導者育成のため、養成講習会や研修会を実施した。

II. 事業内容

《公1》競技スポーツ事業

【4,618千円】

1 第68回県民体育大会

(1) 第68回県民体育大会の運営に必要な経費の一部助成

41競技 8,184名が参加

《公2》スポーツの競技力向上及び普及等に関する事業

【110,900千円】

1 競技力向上対策事業

(1) スポーツ医・科学の活用

スポーツドクター、トレーナーによるスポーツ医・科学的サポート

①国体選手・指導者のメディカルチェック及びサポート

メディカルチェック（身体検査・採血検査）延べ71名 [6月24日、11月25日]

②国体への帯同ドクターの派遣 本大会3名・冬季大会3名

③ドーピング防止講習会の開催 国体出場選手261名 [9月4日]

スポ少指導者・保護者148名 [2月13・14・20日]

(2) 東北ブロック大会・国民体育大会への選手団派遣

①東北ブロック大会兼第44回東北総合体育大会（秋田県）[8月18日～20日（主会期）]

エントリー数 37競技 911名が参加

- ②第72回国民体育大会本大会（愛媛県）[9月30日～10月10日（本大会）]
 エントリー数 29競技 436名が参加
 [結果] 天皇杯20位（989点） 皇后杯20位（582点）
 ＊第72回国民体育大会報告会の実施 [11月22日]
- ③第73回国民体育大会冬季大会
 [スケート競技会 平成30年1月28日～2月1日]（山梨県）
 エントリー数 1競技 16名が参加
 [結果] 天皇杯28位（10点） 皇后杯22位（10点）
 [スキー競技会 平成30年2月25日～28日]（新潟県）
 エントリー数 1競技 82名が参加
 [結果] 天皇杯4位（120点） 皇后杯2位（49点）
 ◎冬季大会 [スケート・スキー競技会] 総合成績
 天皇杯8位（140点） 皇后杯10位（59点）
- (3) 秋田県高等学校強化拠点校制度等による選手育成・強化
 - ①秋田県高等学校強化拠点校
 15競技、拠点校14校
 拠点校の激励・戦力分析の実施
 監督会議の実施 [5月17日]
 - ②中学生強化選手の指定・研修
 選手の指定 6月24日 11競技 55名
 11月25日 10競技 31名
 資質・競技力向上研修（フィジカルトレーニング、宿泊研修等）の実施
 [8月26日～27日、10月21日、平成30年2月17日]
- (4) テクニカルアドバイザー等による競技力向上
 テクニカルアドバイザー（11名） ジュニア育成アドバイザー（2名）を配置
- (5) 社会人チームの支援及び強化
 国体等で活躍する社会人スポーツ選手の競技力向上のための支援
- (6) トップアスリートの活躍を支援する取り組み
 - ①現役アスリートが県内に就職し競技を続行できるようにするため、アスリート就職推進アドバイザーを配置し、求人・求職情報の収集とマッチングサポートを実施
 （マッチング状況：斡旋者5名 ・事業所登録27社、求人8社、求職6名）
 - ②本県出身の五輪・パラリンピック候補選手の支援（支援額284千円）

2 スポーツの普及・振興を図るための広報活動

- (1) 機関誌「スポーツ秋田」（年3回 各2,000部）
- (2) スポーツ関連情報をホームページで発信

3 加盟団体が実施したスポーツ事業への助成と日韓スポーツ交流事業の実施

- (1) 地域団体及び学校体育団体へ助成（38件）
- (2) 日韓スポーツ交流・地域交流推進
 ソフトテニス交流 秋田県選手団派遣 [7月7日～7月11日 12名]

4 体育・スポーツの振興に顕著な功績があった者の顕彰

- (1) 秋田県スポーツ賞表彰 [平成30年3月14日]
功労賞5名、特別功労賞1名、荣誉賞5名、生涯スポーツ賞(個人3名)、
国際優秀賞1名、国際奨励賞2名、優秀指導者賞4名、栄光賞(個人34名・団体27)
奨励賞(個人7名・団体6)、特別賞(個人2名)
- (2) 人見スポーツ賞表彰 [平成30年3月29日]
個人の部 小林 快(世界陸上選手権)
団体の部 北都銀行バドミントン部(第72回国体 他)
- (3) 畠沢国体賞表彰 [平成30年3月29日]
個人の部 木村 幸大(スキー競技)
団体の部 バスケットボール秋田県チーム
- (4) 辻ジュニアスポーツ大賞表彰 [平成30年3月29日]
個人の部 齋藤 華南(フェンシング競技)
団体の部 第55回全国中学校スキー大会秋田県女子選抜リレーチーム

5 人見スポーツ傷害基金による傷害防止対策事業

- 研修会の実施 他
死亡弔慰金の給付 該当なし

6 競技団体が実施する競技会等の共同主催(後援)

- 共同主催 2件(県体、東北総体)
後援 85件

《公3》生涯スポーツ振興事業

【27,158千円】

1 総合型地域スポーツクラブの育成指導・助言

- (1) 総合型クラブの創設
新規創設クラブ 1 (育成状況 74クラブ)
- (2) 総合型クラブ連絡協議会事業
 - ①総合型クラブ地区交流会の開催
県北地区クラブ交流会:10月22日、参加者100名
県央地区クラブ交流会:11月9日、参加者80名
県南地区クラブ交流会:11月19日、参加者100名
 - ②総合型クラブ全県交流大会の開催: 9月2日 大潟村 参加者56名
11月12日 大仙市 参加者200名
 - ③クラブネットワークアクション2017の開催(日体協主催)
[11月4日~5日 山形県寒河江市 参加者120名]
- (3) チャレンジデーへの参加促進
5月31日 県内全市町村で実施. 総参加者数 約62万7千人

2 スポーツ指導者養成のための講習会、研修会

- (1) 指導者養成講習会
[ソフトテニス:10月22・28・29日・11月4・5日、参加者10人]
- (2) 指導者研修会
[6月17日、秋田市 参加者49名]
[12月3日、秋田市 参加者69名]

3 スポーツ少年団の競技別交流大会、リーダー養成の研修会等の実施

(1) 交流大会

- ①第54回秋田県スポーツ少年大会（仙北市、7月28日～30日）
- ②第40回秋田県スポーツ少年団大会（各地、5月～平成30年2月、8競技）
- ③東北ブロックスポーツ少年団競技別交流大会（2県で開催、7月～3月、4競技）

(2) リーダー養成（随時開催）

- ①リーダー総会（秋田市、5月14日、指導者4名、団員12名）
- ②ジュニアリーダースクール（仙北市、7月28日～30日、48名）
- ③リーダー研修会（秋田市、2月12日、指導者2名、団員13名）
- ④リーダーのつどい（秋田市、3月20日、指導者5名、団員18名）

(3) 海外交流事業

- ①スポーツ少年団日独スポーツ交流事業
[受入：8月1日～5日 東成瀬村 9名]

(4) スポーツ少年団モデル育成事業

北秋田市、潟上市、横手市においてスポーツ交流会を実施

4 スポーツ少年団認定員養成講習会等、スポーツ少年団顕彰等

(1) 認定員養成講習会 7地区 1, 338名認定

(2) 認定員再研修会・育成母集団研修会 4地区 234名参加 (うち1回31名は、スポーツ少年団指導者研究協議会を兼ねて実施)

(3) スポーツ少年団顕彰事業

功労者14名、優秀指導者3名、優秀単位団8団、優秀母集団4団

(4) スポーツ少年団広報事業

- ①広報誌「スポーツ少年秋田」 (年2回 各2,930部)
- ②「スポーツ少年団の現状」 (年1回 1,050部)

《収益事業》

自主財源確保のための飲料水等販売事業

【5,897千円】

1 自動販売機事業（22施設 96台設置）

（事業収入 7,789千円）

2 スポーツ立県キャンペーングッズ販売事業（ポロシャツ等）

（事業収入 15千円）

Ⅲ. 組織運営及び財政確立

1 組織の充実

強化委員会メンバーを補強し、強化事業を推進したほか、強化計画を策定した。

2 財政の確立

(1) 賛助会員

法人73団体 個人27名

・受取会費 917千円

(2) 寄附金

法人98団体 個人41名

・寄附金総額 5,128千円

(3) 特別寄付金 1,000千円

秋田プロバスケットボールクラブ(株)からの、バスケットボールの普及・振興等のための寄附

(4) 特定寄附金 199千円

五輪・パラリンピック候補選手を支援するため、チャリティーゴルフコンペを開催

(5) 特定費用準備金

人見スポーツ傷害基金 600千円

人見スポーツ傷害基金事業費の財源として積立